

（仮称）教育推進プラン・江東（第3期）（素案）の構成イメージ

～未来を担うこどもを育むまち～

教育推進プラン・江東（第3期）

令和8年度～12年度



令和8年3月 江東区教育委員会

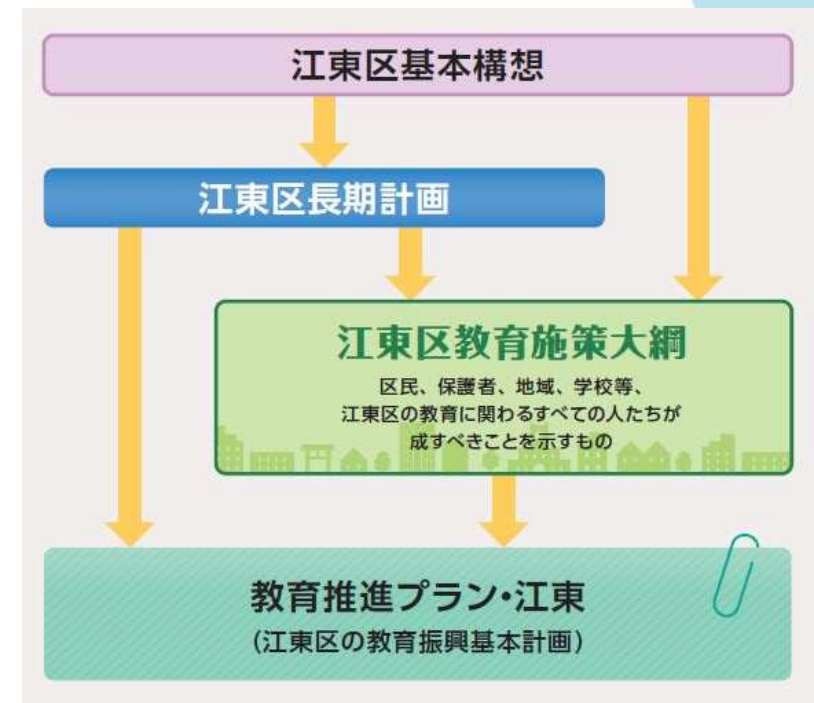
第1章教育を取り巻く動き



「江東区観光キャラクターコトミちゃん」

1. 江東区教育振興基本計画

- 江東区教育委員会は江東区教育振興「江東区基本構想」(平成21年3月策定)及び「江東区長期計画」(平成22年3月策定)との整合性を図りながら、平成23年3月に「教育推進プラン・江東」を教育振興基本計画として策定しました。
- 基本構想に掲げる目指すべき江東区の姿「未来を担うこどもを育むまち」の実現に向け「江東区教育施策大綱」を策定し、令和7年度には「教育推進プラン・江東(第2期)」が最終年度を迎えました。
- 必要に応じた調整及び見直しを行うとともに、区民や保護者、区立小中学校に通う児童生徒を対象とした「教育に関する意識調査」を実施し、そこで把握した教育行政の現状と課題を踏まえ、「教育推進プラン・江東(第3期)」(令和8～12年度)を策定しました。



2. 国際的な動き

生成AIの動向

近年、生成AI(ArtificialIntelligence:人工知能)等技術の発達が目覚ましく、文章作成のみならず作曲や画像、映像ができる生成AIが登場しています。

一方で、生成AIを悪用し著名人になりすます「ディープフェイク」をはじめ、生成AIの学習では著名人の写真や楽曲、イラストなど著作物を用いることから法整備等が遅れている状況にあります。

2023年5月のG7広島サミット(第49回先進国首脳会議)にて、生成AIに関する国際的かつ包括的なルール検討を行うために「広島AIプロセス」が立ち上げられました。

同年12月には「広島AIプロセス包括的政策枠組み」および「広島AIプロセスを前進させるための作業計画」が取りまとめられ、安全・安心・信頼できるAIの実現に向けてAIに関わる全ての関係者が守るべきルールが示されました。

(例)

OECD生徒の学習到達度調査

OECD(経済協力開発機構)の生徒の学習到達度調査(PISA)は、義務教区終了段階の15歳の生徒が持っている知識や技能を実生活で直面する課題にどの程度活用できるか、2000年から3年毎に3分野(読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシー)の調査が行われています。

2022年度に実施されたPISA2022は、81カ国・地域から69万人が参加しました。日本からは国際的な規定に基づき抽出された183校約6,000人が参加しました。

結果、数学的リテラシーと科学的リテラシーはOECD加盟國中1位で、読解力はOECD加盟國中2位という結果でした。前回調査(PISA2018)から、OECDの平均得点は低下している一方、日本は3分野全てにおいて平均得点が前回調査より上昇しています。

国立教育政策研究所の分析では、学校現場における授業改善やICT環境の整備が進み、生徒がICT機器の使用になれたことなどが要因と考察しています。

3. 国・都の教育施策

第4期教育振興基本計画(国)

令和5～9年度の計画として、「持続可能な社会の作り手の育成」と「日本社会に根差したウェルビーイングの往生」をめざして、右図のような①グローバル化、②誰一人として取り残さない、③地域や家庭で共に学び、支えある社会、④DXの推進、そして⑤教育政策の遂行にあたっての評価、の基本的な方針と、16の目標と基本施策、指標を設定しています。

東京都教育ビジョン(第5次)

3本の柱(①自ら未来を切り拓く力の育成、②誰一人取り残さないきめ細やかな教育の充実、③子供たちの学びを支える教職員・学校の力の強化)と、12の基本方針(教育のインクルージョンの推進、困難を抱える子供へのサポートの充実等の内容を強化)から成り立っています。

5つの基本的な方針



◆「未来の東京」に生きる子供の姿◆

自らの個性や能力を伸ばし、様々な困難を乗り越え、人生を切り拓いていくことができる

他者への共感や思いやりを持つとともに、自己を確立し、多様な人々が共に生きる社会の実現に寄与する

◆東京の目指す教育◆

誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って自ら伸び、育つ教育

関係機関等

地 域

学 校

家 庭

区市町村

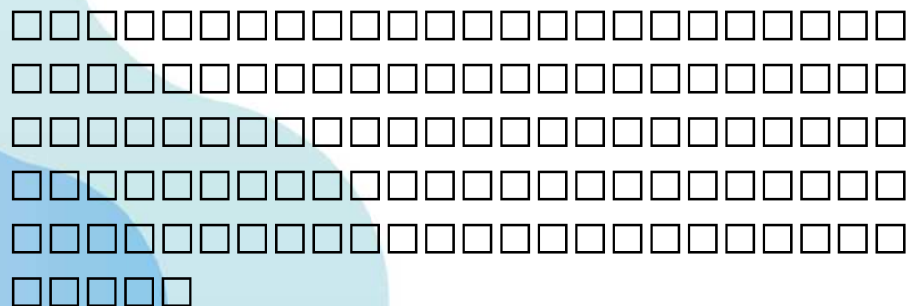
4. 江東区の現状

江東区こどもの権利に関する条例

令和7年4月1日に「江東区こどもの権利に関する条例」を施行しました。

本条例は、日本国憲法や児童の権利に関する条例の考え方をもとに、こどもの権利を大切に守るための基本となる考えを定め、こどもに関係する人たちが何をしなければならないのかを理解し、本区のこどもの健やかな育ちを支えていくことを目的としています。

不登校児童生徒数の現況



(例)

施策の着地点と関連するData



5. 教育を取り巻く社会の動向

VUCA(将来予測が困難な)時代

VUCAとは、Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)の頭文字をとったもので、将来の予測が困難で、変化が激しい経済社会環境であること指す言葉です。

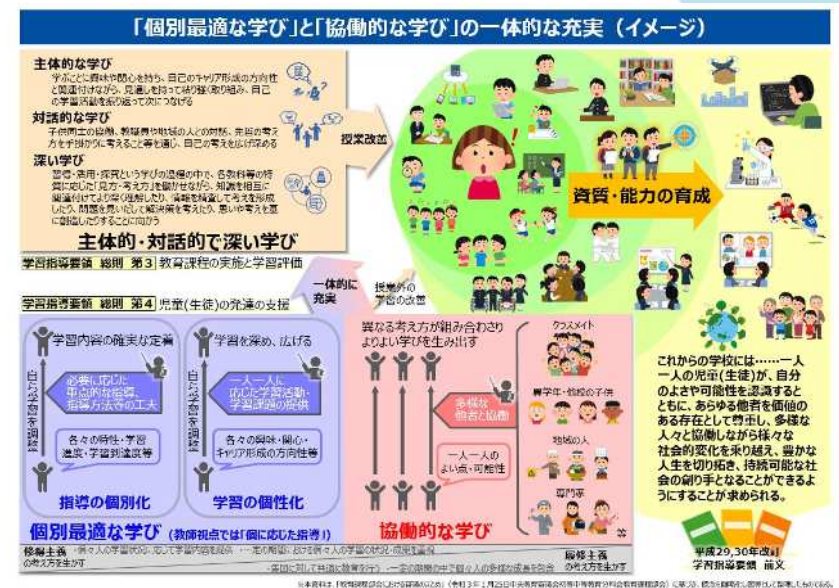
VUCA時代を生き抜くためには、環境の変化に対応する柔軟性、適応性をはじめ、創造力や問題解決力、多様な人びとと協働する力、コミュニケーション力などが求められます。

場所を選ばない学び

新型コロナ禍を経て、オンデマンド学習等の環境が加速しました。近年、仮想空間(ヴァーチャル空間)上に作られた学校で学ぶことができるプラットフォーム(場)が登場しています。

東京都は2022年から「バーチャル・ラーニング・プラットフォーム」の取組みを始めており、不登校児童生徒や入院等で通学できない児童生徒に対して、切れ目のない教育の実現に向けた取組みが進められています。

(例)



第2章 江東区の教育が目指すもの



江東区の教育理念について

私たちは、こどもたちが、夢に向かってのびのびと育ち、未来を担う人となることを目指し、
〈5つの力〉

自ら学び考え行動する力
困難を乗り越える力
人権を尊重し他者を思いやる力
社会へ主体的に貢献する力
他者と協調・協働し人間関係を形成する力

を育むために、

〈3つの指針〉

「生きる力」を育む「知」「徳」「体」の調和がとれた教育
一人一人を大切にし、個性を伸ばす教育
学校・家庭・地域が連携し、こどもたちの成長を支える環境づくり

を掲げ、推進します。

そして、
〈キーワード〉

「with…～ともに～」

こどもたちが、主体的に、そして友達と「ともに」学び、「ともに」育つこと
大人たちは、こどもたちのために「ともに」考え、「ともに」支えていくこと
を大切にします。



江東区教育理念

江東区基本構想では「未来を担うこどもを育むまち」を目指すべき江東区の姿としてしており、「こどもたちがのびのびと育ち、責任感と未来を担う力をもつ人に成長すること」を目指すべき姿にしています。

江東区教育施策の取組方針では、3本の柱(Ⅰ.一人一人に向き合う学校教育の充実、Ⅱ.多様なニーズに応じた教育環境の充実、Ⅲ.こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり)を掲げ推進していきます。また、そのキーワードに～を掲げ、～ます。

江東区基本構想

目指すべき江東区の姿

「未来を担うこどもを育むまち」

- こどもを育てることに、喜びと生きがいを持てる社会になっています
- こどもたちが毎日楽しく学び、遊ぶ中で、こどもらしくのびのびと育ち、責任感を培うとともに、未来を担う力を養っています
- 地域社会が一体となり、こどもの未来を育んでいます



あるべき姿と将来像を共有

教育における目指すべき姿

こどもたちがのびのびと育ち、責任感と未来を担う力をもつ人となること

教育は、人づくりを通じてより良い未来をめざす実践であり、まちづくりの根幹を成すものです。

時代は高度情報化・グローバル化の進展と技術革新が進んでおり、このような時代の変化に対応しながらたくましく生き、広く社会で活躍できる人、地域にいらにらして世界に発信することができる人を育てることも重要です。

また、いじめ・不登校・ひきこもりなど青少年を取り巻く状況が依然として深刻な中、いのちの尊さを重んじ、生きる力を育む教育が必要です。

今後は、アフターコロナにおける新しい生活様式を教育にも取り入れながら、教育的ニーズに合わせたICTの活用を進め、本区基本計画の未来像である「未来を担うこどもを育むまち」を実現するため、「こどもたちがのびのびと育ち、責任感と未来を担う力をもつ人となること」を目指し、教育施策を総合的に推進していきます。

江東区教育施策の取組方針

施策の柱Ⅰ

一人一人に向き合う学校教育の充実

確かな学力・豊かな人間性・健やかな体をバランスよく育成し、「生きる力」を身につけていくことが重要です。この生きる力をどの子も身につけることができるよう、ことうま学びスタンダードを基軸とした知・徳・体の調和のとれた教育を進めます。

取組方針

- 1 学習内容の充実
「ことうま学びスタンダード(ネクストステージ)」の推進と主体的な学びの定着を図るとともに、外国人講師などを活用した英語教育の充実、生きる力を育む特色ある教育活動を推進します。
- 2 思いやりの心の育成
自他を大切にする優しい心の育成を図るとともに、体験活動を通して共感的理解と自己肯定感の育成を推進します。
- 3 健康・体力の増進
運動習慣の定着と個に応じた運動能力の向上を図るとともに、健康についての理解・啓発と生活習慣の改善を図ります。
- 4 教員の資質・能力と学校の組織力の向上
オンラインやデータ化による研修の効率化を図るとともに、学校向士の連携推進や研究協力校等の活用により指導力の向上を図ります。

施策の柱Ⅱ

多様なニーズに応じた教育環境の充実

学校、地域、家庭及び関係機関が連携・協働し、全ての児童・生徒が明るくのびのびと過ごすことができる教育環境の整備が重要です。個別的なニーズに応じた教育の推進、いじめや不登校対策の充実など、一人一人を大切にしたい対応を行うとともに、施設の適正な整備や学校安全対策などを進めていきます。

取組方針

- 1 多様な教育ニーズに応じた教育支援の推進
様々な教育的ニーズに応じた支援を推進するとともに、多言語対応など、こどもに寄り添った支援の充実を図ります。
- 2 いじめ・不登校対策の充実
学習や相談支援体制の充実、SNSによるいじめ等の対応強化及び不登校の未然防止・早期対応を推進します。
- 3 学校・地域・家庭の連携の推進
地域学校協働本部の充実とともにコミュニティ・スクールの導入を着実に進め、学校を拠点とした連携及び協働を推進します。
- 4 教育施設の整備・充実
教育施設を適正に整備し、良好な教育環境の保持を推進するとともに、安全で安心な教育環境を確保します。

施策の柱Ⅲ

こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり

こどもたちが健やかに成長していくためには、地域住民・団体と一体となり、こどもの安全・安心な居場所・環境を構築していくことが重要です。江東きずくクラブにおける安全で健やかに過ごせる場の提供や活動場所の環境改善、地域との連携に取り組みほか、防犯カメラの活用等による通学路の安全対策を推進していきます。

取組方針

- 1 こどもが安全で健やかに過ごせることができる居場所の確保
「江東区放課後こどもプラン」に基づき、こどもが安全で健やかに過ごせるよう居場所づくりを推進します。
- 2 こどもの安全を確保する地域環境の創出
登下校時の地域住民等による見守りや通学路防犯カメラの活用、警察などの関係機関との連携を図り、通学路における児童の安全確保を推進します。

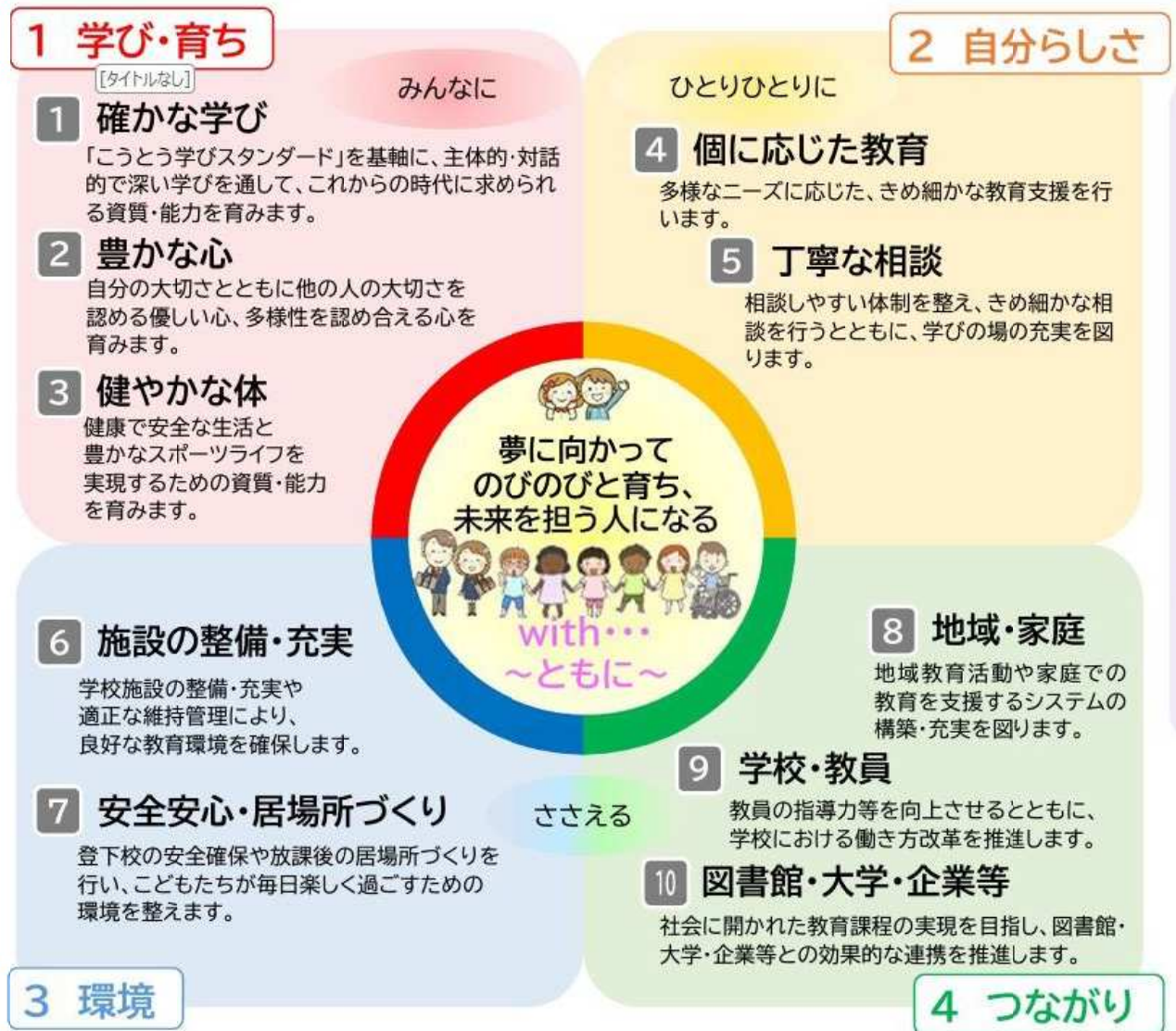
～4つのテーマと10の重点課題～



江東区教育理念「夢に向かってのびのびと育ち、未来を担う人になる」を実現するため、以下の4つのテーマを設定。

- 学び・育ち
- 自分らしさ
- 環境
- つながり

そして、それぞれのテーマに準じた10の重点課題を設定します



第3章未来にむけた方向性



テーマ1 学び・育ち

1 確かな学び

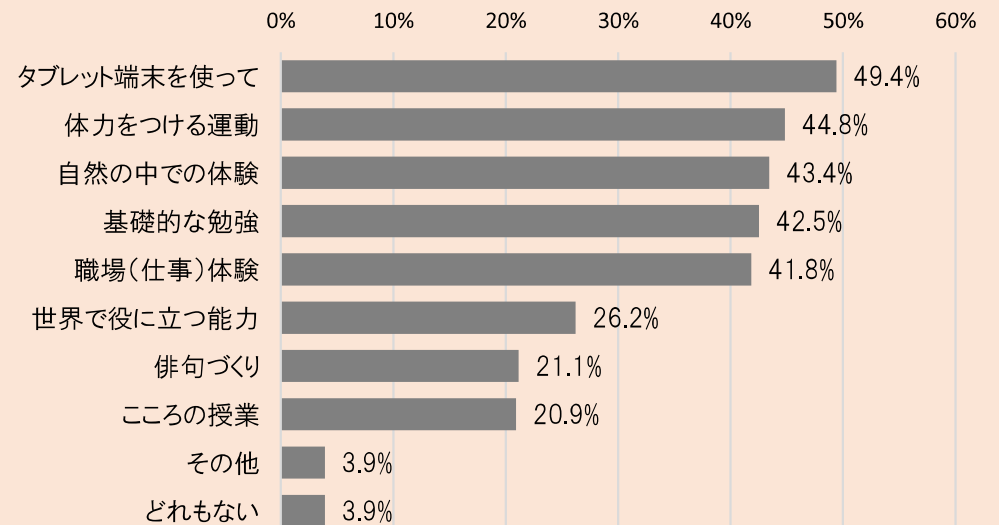
＜目指す姿＞

成果指標

指標名		現状地	目標値
全国学力調査 …都を100とした時の…	小学校	105.2点 (令和元年度)	107点 (令和6年度)
	中学校	102.2点 (令和元年度)	105点 (令和6年度)
△△…	小学校	20.0%	30.0%
	中学校	25.5%	40.0%

現状

課題

 $n=435$

調査概要

施策の取組み方針

施策① こども主体の教育

取組方針1こうとう学びスタンダード(ネクストステージ)の推進

取組方針2 主体的・対話的で深い学びの実現

取組方針3 個別最適な学びの実現

施策② 生きる力を育む特色ある教育

取組方針4 これからの時代を見据えた取組の推進

取組方針5 江東区の特徴を生かした取組の推進

施策③ 連続した学びの保障

取組方針6 連携教育の充実

取組方針7 幼児教育の充実

参考(例)

・文部科学省「ICTを活用した指導方法～学びのイノベーション事業実証研究報告書より～」

・東京都「TOKYOスマート・スクール・プロジェクト」

・江東区「こうとう学びスタンダード(ネクストステージ)」



□ □ □ □ ■ □ □ □ □ ■ □ □ □ □ ■ □ □ □ □